

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-5-3	事務事業名 交通安全協力員事業	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	--------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 交通安全協力員とともに交通安全対策を広範に推進する。	総合計画上の位置づけ (政策)安全で快適に暮らすまちづくり (施策)防犯・交通安全の推進(安2-2) (主要施策)交通安全対策の推進
	実施内容、実施方法 市内各小学校の推薦された2名の交通安全協力委員と年4回の会議を実施し、承認された年間活動計画に基づき交通安全運動期間中の安全誘導、自転車教室(交通安全教室)、学校区を中心とした交通環境の具申、地域への交通安全の促進を行う。	根拠法令等 交通安全協力員設置要綱
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 交通安全協力員数	活動指標の考え方(定義) 定数
	活動人数	交通安全に関する活動参加延べ人数(人/年間)
	成果指標名	成果指標の考え方(定義)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		262	262	262	262	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		262	262	262	262	
	所要人員(B)	人	0.5	0.5	0.5	0.5	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	4,123	4,137	4,164	4,164	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	4,385	4,399	4,426	4,426	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(活動人数(人/年間))	千円	6.15	2.40	1.33		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	人			38	38
		実績値	人	38	38	38	
	活動指標	目標値	人			3,000	3,000
実績値		人	713	1,830	3,339		
成果指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし
	国・都・他市・民間等 における類似事業	交通安全母の会
	運営上の制約条件・ 外部要因等	特になし

コード 8-5-3	事務事業名 交通安全協力員事業	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	--------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	2名の協力員が各学校の地区委員等の協力を仰ぎ、自転車教室、交通安全誘導を実施していることから事業目的が達成されている。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	交通安全意識を市民広範に広めるためにも必要である。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	19校各2名の交通安全協力員の謝礼金は、1名につき年間6,000円(通常1回当たり2,000円)であり活動回数を増せば効率性は増す。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	各小学校単位の協力員(校長推薦)であることから、公平性には問題なしと考える。
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	広く市民が交通安全意識を持つためには、本制度は継続実施する必要性は大である。 また、活動内容について拡大を検討し、平成18年度より実施して行きたい。

17年度における改善点	例年とおりの実施。
-------------	-----------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現在の取組内容を継続して実施する。
--------	---	-------------------

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。